

# 創造空間PRESS

相談できる。デザインできる。職人の技でつくる。  
木の家、ソーラーハウスの実績豊かな工務店です。



2021年10月（不定期発行です）  
発行責任者 創造空間(有)高田工務店  
東京都稲城市押立870-3  
tel042-377-5359 fax042-377-6084  
Eメール\_sozokukan@nifty.com

ホームページ、ブログ、facebookもご覧ください。【創造】【高田】で検索できます。

<http://souzou-kukan.com/> ブログ<http://sozokukan.blog.so-net.ne.jp/>  <https://www.facebook.com/sozokukan>

## ウッドショックの今、大工の技仕事で乗り越えます……

コロナ禍による全世界的な経済影響、そのひとつに木材供給の需要バランスの悪化があり、木材供給に滞りが発生しています。というのも、施工棟数の多いハウスメーカーや分譲業者さんは、外国のある樹種が不足したとすると、一斉に構造材種を変更して構造計算をやり直し、同じタイミングで構造加工の工場へ集中発注をかけます。そのため、樹種供給や加工が滞ってしまい、着工の遅れへと繋がってしまいます。弊社では元々、国産材種にて計画を進めてきましたので、樹種の需給にはあまり影響がありません。その上、経験豊富な大工たちが手作業で墨付けや加工なども行いますので、大きな混乱もありません。右の写真は、弊社の新世代棟梁が、構造材を下小屋に搬入して墨付け中です。このような光景は、家を造る工務店としては当たり前のことです。しかし最近では、こういった光景を見ることが少なくなってしまいました。弊社ではこういった、時代に左右されない職人の手仕事を、最も大事にしております。



## 住み心地の良い家、耐震、断熱、デザイン……そして**水害**に備えます。

太陽熱を取り込んだ家、ハイブリッドソーラーハウスに住むようになって15年。

エアコンに頼らない生活、飽きのこない設えに快適な日々を過ごしてきました。

これに加え、皆さんに御提案したいのが水害に強い家の御提案です、私が暮らす稲城市押立は水害ハザードマップのど真ん中、水害発生時、場所によっては水深1～3.0mに達する地域です。



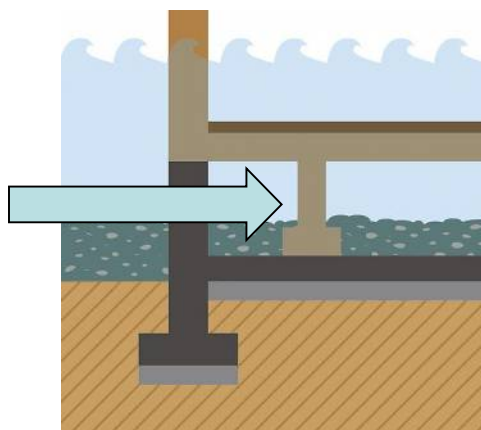
### 床上浸水が発生したら……

床上浸水の時の一般的な措置

1. フローリング材や畳を外して汚水や汚泥を掻き出す。
2. 床下を乾かして消石灰などにより殺菌消毒を実施。
3. 必要に応じて調質剤や消臭剤を使う。

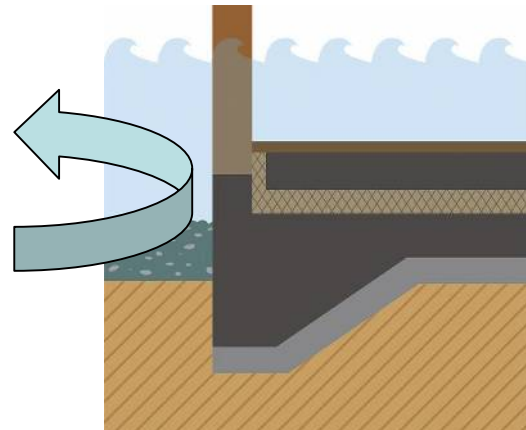
**床下がない我が家では床下浸水はありませんので、  
汚泥を掻き出す作業が少なくなり、  
殺菌消毒などの作業が少なくて済みます。**

弊社の建物の床下は太陽熱を蓄える蓄熱コンクリートなので、床下浸水、床上浸水の時も床下に汚泥が入りません。



#### 一般的な家の場合

床下浸水でも汚泥が入ってしまいます。



#### 高田工務店の場合

床下に汚泥が入りません。



# いなぎハザードマップの我が家の場所。

あなたの住む場所はどの位の水位まで上がりますか？

私の家は1.66m・・・多摩川が決壊したら床上浸水は確実に起こります。

